

第5回越前焼検定（中級）問題集

正しいと思われる番号もしくは（ ）内を答えなさい。

No.1 越前焼の起源は（ ）時代である。

No.2 越前焼の古窯跡は現在約（ ）百基発見されている。

No.3 越前焼の発祥の地はどこか。

- ① 越前市 ② 越前町 ③ 南越前町

No.4 歴史上、過去の越前焼の主力商品は、壺や（ ）であった。

No.5 越前陶芸村の中にある福井県陶芸館が開設されたのはいつか。

- ① 昭和26年 ② 昭和36年 ③ 昭和46年

No.6 越前陶芸まつりは（ ）年前から行われている。

No.7 越前陶芸村内の桜の木は約（ ）本ある。

No.8 陶器は（ ）で出来ている、また磁器は石の粉で出来ている。

No.9 越前焼の成形時から焼成後までの収縮率は約何%か。

- ① 10%以下 ② 15%～20% ③ 20%～30%

No.10 福井県陶芸館の自然庭園の名称は（ ）である。

No.11 越前陶芸村の彫刻公園には、陶芸作家をはじめとした芸術家たちの巨大モニュメントがありますが、全部で（ ）個である。

No.12 越前陶芸村の面積は約（ ）haである。

No.13 越前の陶土を製造しているのはどこか。

- ① 福井県陶芸館 ② 福井土木事務所 ③ 越前焼工業協同組合

No.14 越前焼で珍しい特長ある商品は何か。

- ① 種壺 ② 水甕 ③ 火もらい甕

No.15 越前焼のビアマグにビールを注いだ時ビールの泡は（ ）なる。

No.16 越前焼には薪窯を持っている窯元は約何軒か。

- ① 約20軒 ② 約30軒 ③ 約40軒

No.17 明治時代に越前町で焼き物産業を興した焼き物は（ ）である。

No.18 越前ねじたて技法で使われる道具は（ ）である。

No.19 北陸地方にある焼き物の産地は（ ）である。

No.20 陶土の揉み方の名前は（ ）である。

No.21 越前焼とタコ壺の記述で正しいものはどれか。

- ① タコ壺を製造していた
- ② 漁師が製造していた
- ③ 越前瓦屋が製造していた

No.22 福井県陶芸館に展示されている国内最大級の大壺の重量は約何キロか。

- ① 300kg
- ② 600kg
- ③ 900kg

No.23 中世の越前焼の焼成品は、ほぼ3器種に限定されますが「壺・甕」ともうひとつはなにか。

- ① 茶碗
- ② 箸置き
- ③ すり鉢

No.24 福井県陶芸館に展示されている、鎌倉時代に使われていた「あな窯」の実物大復元模型の窯の全長は何メートルか。

- ① 12.7m
- ② 18.7m
- ③ 20.7m

No.25 福井県陶芸館は越前町小曾原の（ ）にある。

No.26 越前焼工業協同組合の創立はいつか。

- ① 昭和40年
- ② 昭和46年
- ③ 平成5年

No.27 越前陶芸村内にあるイサム・ノグチの作品名は（ ）である。

No.28 越前焼の代表的な技法はどれか。

- ① 越前ねじ立て技法（輪積み成形）
- ② 越前たたら技法
- ③ 越前ろくろ技法

No.29 越前の陶土は焼くとどうなるか。

- ① 焼き締め硬くなる
- ② 縮んで割れる
- ③ 膨らんでもろくなる

No.30 越前の陶土の特長は、全国的にみて（ ）が多く含まれている。

No.31 越前焼の窯元数は、平成24年12月現在どれだけあるか。

- ① 約60窯元
- ② 約90窯元
- ③ 約120窯元

No.32 昭和22年、陶磁誌に「越前の古窯」を発表し越前焼が六古窯に入るきっかけを作った人物は（ ）である。

No.33 越前焼にあるすぐれた機能性はどれか。

- ① 水が腐りにくい ② 米が腐りにくい ③ 果物が腐りにくい

No.34 福井県陶芸館に併設されている本格的茶室の名前は（ ）である。

No.35 水簸粘土は、原土に水を加え攪拌してごみや粗粒子を（ ）と沈殿により除去する。

No.36 越前の粘土は山裾や田んぼの下から採取するが、一定期間屋外で寝かす。何のためにするのか。

- ① 土を細かくする ② 粘りを強くする ③ アルカリ分を取り除く

No.37 成形の前に空気を抜いたり・（ ）を均一にするために土練りを行う。

No.38 焼き物の成形でないものはどれか。

- ① 手吹き成形 ② 鑄込成形 ③ 押し型成形

No.39 越前焼は天然の原料から作っているが、構成されている元素の中で一番多いのは（ ）である。

No.40 越前焼は直火OKであるか。

- ① すべてOK ② 特別な陶土で製造したモノのみOK ③ すべて無理

No.41 「自然釉」の意味を説明せよ。

- ① 最初から釉薬をつける ② 後で色をつける ③ 薪の灰が釉薬となる

No.42 越前陶芸村の建設が始まったのは昭和（ ）年である。

No.43 乾燥方法で正しいのはどれか。

- ① 日や風を当てて、片方側から乾燥すること
② 全体が均一に乾燥すること
③ 早く乾燥すること

No.44 室町時代の後期に越前焼が流通した範囲はどれか。

- ① 北海道～九州 ② 東北～九州 ③ 北海道～山陰

No.45 越前焼の歴史的な位置づけは（ ）である。

No.46 越前焼が通産大臣から伝統的工芸品の指定を受けたのは昭和（ ）年である。

No.47 一般的に「壺」と「甕」の違いはなにか。

- ① 口の大きさ ② 肩の大きさ ③ 違いはない

- No.48 越前焼の焼締め商品の最良な使い方は使用前に（ ） ことである。
- No.49 陶器と磁器の強度比較で正しいのはどれか。
① 磁器が強い ② 陶器が強い ③ 同じである
- No.50 越前焼の分類で正しいのはどれか。
① 炆器 ② 磁器 ③ 陶器
- No.51 越前荒土は赤土と（ ） のブレンドである。
- No.52 ろくろ成形の回転方向で正しいのはどれか。
① 左右両方向ある ② 右回りだけ ③ 左回りだけ
- No.53 越前ねじ立て技法（輪積み）の特長はどれか。
① 作り手も作品も回る ② 作り手が回る ③ 作品が回る
- No.54 越前焼の焼成窯にないものはどれか。
① 電気窯 ② のぼり窯 ③ 石焼窯
- No.55 新ブランド「土ごころ」の製造特長で正しいものはどれか。
① 釉薬がかけてある ② 釉薬を半分かけてある ③ 釉薬をかけてない
- No.56 ろくろ成形時の「土ころし」とは土を（ ） にすることである。
- No.57 越前焼の館で販売しているのは（ ） である。
- No.58 経済産業大臣指定伝統的工芸品の定義はなにか。
① 指定技法・材料・地域で作られたもの
② 指定の材料・技法で作られたもの
③ 指定の技法で作られたもの
- No.59 越前焼の耐熱陶板は平成（ ） 年に発売された。
- No.60 手練り工程の菊揉みは、坏土の（ ） を抜くと同時に粒子の配列を整え、成形しやすくするための練り方である。
- No.61 越前焼工業協同組合が製造販売する越前の陶土で、もっとも粒子が細かく焼締めると高強度が得られるものはどれか。
① 荒土 ② 新荒土 ③ 水ヒ土
- No.62 越前の陶土の主たる色は何色か。
① 黒 ② 茶 ③ 白
- No.63 越前の陶土は焼成すると主に何色に焼き上がるか。
① 白 ② 茶・グレー ③ 青

- No.64 越前焼の成形方法にない技法はどれか。
① 手ひねり成形 ② たたら成形 ③ 一刀彫成形
- No.65 越前ねじ立て成形（輪積み成形）で用いる「はがたな」とは（ ）道具である。
- No.66 越前焼の一般的な素焼き温度は何℃か。
① 500℃～600℃ ② 700℃～800℃ ③ 900℃～950℃
- No.67 あな窯を焼成する時の主燃料は（ ）である。
- No.68 成形する時の「とんぼ」とは直径と（ ）を測る道具である。
- No.69 仕上げた生地は（ ）してから焼成する。
- No.70 成形方法で「たたら成形」とは（ ）にした粘土でつくる成形方法である。
- No.71 越前焼の伝統工芸士の受験資格のうち、実務経験年数は（ ）年以上である。
- No.72 越前焼の伝統工芸士は、現在（平成24年12月現在）何名か。
① 6人 ② 8人 ③ 10人
- No.73 伝産指定の施釉方法は、どぼかけ、流し掛け、筒掛け、散らし掛け、（ ）がある。
- No.74 中世を代表する焼き物の一つとして越前を含めて、日本六古窯と言われるのはどれか。
① 瀬戸、多治見、常滑、信楽、備前
② 有田、備前、信楽、丹波、瀬戸
③ 瀬戸、丹波、常滑、信楽、備前
- No.75 古越前は、須恵器から猿投窯の技術が入って古窯が生まれたといわれているが、猿投窯は（ ）県である。
- No.76 古越前は日本海沿岸地方最大の生産地であった、その生産品の中で誤っているのはどれか。
① 甕 ② すり鉢 ③ 抹茶碗
- No.77 青ねば（青粘土）は、地中では鉄分が硫化鉄に還元されて青くなっているが、採掘すると空気に触れて（ ）される。鉄分の含有量によって黄色～赤褐色に変色してくる。
- No.78 土練りは、数種類の粘土をよく混ぜ合わせて（ ）にするため行う。
- No.79 素地加飾工程の模様彫りは、半乾燥の生地にへらや（ ）を用いて、線や絵（樹、鳥、船、魚等）を模様彫り込む。
- No.80 突き刺し工程とは生地の（ ）を釘や竹釘を用いて突き刺し、模様を入れることである。

No.81 乾燥工程は、成形後の乾燥で変形や亀裂が出やすいので、一方的な風や（ ）は避けて満遍なく廻したり、上下に返しながらゆっくり乾燥した方がよい。

No.82 釉薬の原料のうち、土灰とは（ ）のことである。

No.83 素焼き工程の中で、自然乾燥を十分しても、素焼きは温度を（ ）上げて蒸気を出やすくしないと亀裂しやすい

No.84 ある種の陶磁器では釉薬の表面に（ ）という欠陥を生じる原因として考えられることは素地と釉薬の熱膨張関数が著しく異なっているためである。

No.85 陶磁器の（ ）工程において、特に急速な昇・降温を避けなければならない温度域は550～650℃である。

No.86 ねじ立て成形（ ）とは、人が成形物の回りを回って作るものである。

No.87 ねじ立て成形に使われる道具は、（ ）とはがたなである。

No.88 ろくろ成形工程のねじ立てはつぎ作りとは、手ひねり、かめ板据え、底作りなどねじ立てるまでは、ねじ立て成形と同じであるが、違いは成形物が（ ）上で回ることである。

No.89 （ ）成形工程とは、粘土を手でひねりながら、作ることである。

No.90 成形工程の土殺しとは、粘土の中の粒子の配列を整え癖をなくし、変形や（ ）を防ぐために行うものである。

No.91 ろくろ成形において、（ ）や、キャリバスを用いて寸法を測るのは、形を整え同じ生地を数多く作るためである。

No.92 （ ）成形では、型に粘土が附着しないで、取り外しが楽なために離型剤として片栗粉などを使用する。

No.93 押型成形工程の合わせ型作りとは、合わせ目の粘土に（ ）を用いて内側をやや高く切った後へらで線をつけ、その上にどべを練り接着させることである。

No.94 ろくろ仕上げ工程の（ ）とは、生地の底部を仕上げるときに生地を固定させる円錐形の台座のことである。

No.95 可塑性を有しない原料はどれか。

- ① カオリナイト ② セリサイト ③ ドロマイト

No.96 陶磁器用の粘土の定義として、粘土とは（ ）を主成分とし、適量の水を含むと可塑性を生じ乾燥すれば剛性を示し、高温で焼くと固まって石のようになるもののことである。

No.97 陶磁器の大物成形品の乾燥工程において、時折、底切れという欠陥を生ずることがある
その原因は、底部の肉厚が極端に（ ）か、粒子の配合性が大きな要因である。

No.98 粘土を乾燥すると適度な硬さになり、成形品の形状が保持されるのは、粘土鉱物の結晶構造が板状、柱状、（ ）状を呈していることによる。

No.99 江戸時代の陶工の墓は、（ ）と言って甕を使った墓であった。

No.100 やきものの製品や窯道具などにつける簡単な識別の印のことを（ ）という。